

## 特別講演 1

# 「身体診察でめまいを分かりやすく診る」

洛和会丸太町病院 救急総合診療科 医長

上田 剛士 先生

「めまい」は一般外来で頻繁に遭遇する症候ですが、近年、診断学が大きく進歩した領域でもあります。

例えば良性発作性頭位性めまい症（BPPV）の診療に対してある程度標準化された眼振誘発と浮遊耳石置換法の実施は不可欠となってきました。今回は数ある手技の中から最も有用と思われる Epley 法と Gufoni 法を中心に解説します。

また持続的眼振を呈する前庭神経炎と脳梗塞の鑑別が、Head impulse 試験を初めとする簡単な手技で可能なことが分かってきています。これは特に急性期においては MRI よりも高感度に脳梗塞を検出できる方法として注目されています。

めまい診療を専門とはしない医師や若手医師のために、特別な器具を一切使用せずに「めまい」を系統的に分類・診断する方法を解説いたします。